

近畿地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
野洲川直轄河川改修事業	滋賀県野洲市、守山市、栗東市	令和4年度～令和12年 度	28 28	・野洲川沿川における市町村総人口の増減は、近10ヵ年(平成24年～令和3年)で約5.2%増であり、人口増加の傾向を示している。また、それに伴い総資産額も約3.2%増加している。 ・野洲川沿川は、既存の鉄道、主要国道、高速道路等主要な交通網の整備やピエリ守山、イオンタウン野洲等の住宅や商業施設、企業誘致による古高工業団地が開発され、今後も更なる発展が期待される地域である。 ・野洲川では、平成30年7月豪雨による出水で、河岸水衝部の深掘洗掘が発生し、緊急的に侵食対策を実施する必要性が生じたことや、他事業による土質調査の結果等を踏まえた新たな知見に基づき、堤防の質的強化の追加対策の必要性が生じたことから、令和4年度に事業内容、事業期間を見直した。	・令和4年度末時点において、見直し後の全体事業に対する堤防強化の進捗率は約6%。 ・今後は、比江地区および川田町地区の堤防強化(浸透対策)、中・下流部の堤防強化(侵食対策)、水防拠点の整備を順次実施する。 ・令和7年度より水防拠点の整備(野洲川MIZBESTーション)に新規着手した。	・今後の事業実施の目処・進捗の見通しについては、現時点において特に大きな支障は無い。	・令和4年度末時点において、河岸侵食対策に使用する石材を現地採取することで約0.3億円のコスト縮減を実施した。 ・今後、水防拠点の基盤整備におけるコスト縮減として、発生する掘削土を他事業等へ搬出し有効活用を図ることで土砂処分費を削減し、コスト縮減を図る予定。
揖保川直轄河川改修事業	兵庫県姫路市、たつの市、太子町、宍粟市	平成25年度～令和20 年度	451 451	・揖保川沿川市において、直近9年(平成24～令和2年)で総人口はやや減少、総世帯数及び総資産額はやや増加しているが、社会情勢に大きな変化はない。	・令和4年度末時点において、築堤の進捗率は河川整備計画に対して約10%、堰改築の進捗率は31%である。 ・令和6年度に支川林田川中井・末政地区の整備が完了した。	・今後の事業実施の目処・進捗の見通しについては、現時点において特に大きな支障は無い。	・令和4年度末時点において、河川改修工事で発生した建設発生材を姫路港網干沖の埋立・整地への有効利用等により、あらゆる場面でコスト縮減に努めてきた。 ・今後も河川整備の実施にあたっては、新技術の開発や施工方法の工夫、他事業者との計画調整等によりコスト縮減を図る。